

年頭にあたって

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

市民の皆様には、日頃から議会に対し温かいご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。さて、昨年暮れに政権が交代いたしました。景気対策をはじめ、社会保障、原発、エネルギー政策、震災復興、外交等、課題が山積しており、解決への道程は大変厳しいものがあります。国民に負担への理解を求めるとともに、将来に希望や夢の持てる新たな成長への道筋を示すことが必要であると思っております。本市においては、昨年片丘地区に森林バイオマス資源活用事業「信州F・POWERプロジェクト計画」が示されました。



議長 永田公由

この事業は、林業の再生に挑戦する社会的意義の大きな事業であります。クリアすべき課題は数多くありますが、行政と共に解決に向け取り組んでまいります。塩尻市議会は、昨年内10地区におきまして議会報告会を開催する等、市民の皆様から信頼され必要とされる議会を目指し議会改革を進めております。今後ともご意見、ご提言を賜りますようお願い申し上げます。本年が皆様にとりまして幸多き年になりますようお願い申し上げます。

議会トピックス

- ▼児童館、市営駐車場等の指定管理者を決定
- ▼信州F・POWERプロジェクトに関する調査費等を計上した平成24年度一般会計補正予算を可決
- ▼議員提出議案1件を修正可決、陳情2件を採択し、意見書を関係行政庁へ提出

12月定例会
11月30日
12月20日

12月定例会概要

12月定例会では、塩尻市勤労青少年ホームのほか、大門駐車場、塩尻駅前広場等の各施設の指定管理者の指定を含む36件の議案が市長から提出されました。また、9月定例会から継続審査となっていた議員提出議案1件、市民等からの陳情6件について審査を行いました。

主な議案

○議案第2号 塩尻市情報公開条例の一部を改正する条例
市政に対する情報公開制度をより利用しやすいものとするため、情報の公開を請求することができる者の要件を廃止すること、市が出資する法人等の情報公開に係る規定を設けることなど必要な改正をするもの。



12月定例会 本会議の様子

○議案第15号 24号 指定管理者の指定について
塩尻市児童館、ふれあいセンター、勤労青少年ホームなど、それぞれの施設の指定管理者を指定することについて、地方自治法の規定により、議会の議決を求めるもの。

○議案第28号 平成24年度塩尻市一般会計補正予算（第6号）
歳入歳出ともに3億2千394万7千円を増額し、予算総額を264億5千451万4千円とするもの。

歳出では、人事異動等に伴う人件費の補正を、全体的に関係する費目に計上するもの。総務費では、庁舎大規模改修の概算工事費の確定に伴い実施設計委託料を増額し、専門委員1名分の報酬を増額するもの。また、常勤監査委員報酬を減額するもの。衛生費では、不活化ポリオワクチンを含む4種混合予防接種の開始に伴い、ワクチン代等を増額するもの。商工費では、信州F・POWERプロジェクト予定地の地区境界確認等を行うため調査委託料を補正するもの。土木費では、信州F・POWERプロジェクト予定地のマレットゴルフ場の

廃止に伴い、小坂田公園マレットゴルフ場の整備費を補正するもの。教育費では、通学路緊急合同点検による学校施設等の危険箇所を改修するための工事費等を補正するもの。また、信州F・POWERプロジェクト予定地内の埋蔵文化財調査費を補正するもの。

12月定例会号 もくじ

12月定例会トピックス	2P
委員会の焦点	3P
代表質問の要旨	4P
一般質問の要旨	9P
議会報告会報告書	10P
議会改革政策部会行政視察報告 ほか	14P
提出された議案及び議決結果	15P
市民の声、議会あれこれ ほか	16P

《議員提出議案》

議会第1号 安全・安心の医療・介護実現のための夜勤改善・大幅増員を求める意見書
議会第2号 安心できる介護保険制度の実現を求める意見書
提出先・・・内閣総理大臣、厚生労働大臣、財務大臣、文部科学大臣、総務大臣

委員会の焦点

～委員会審査報告から～

市営駐車場 指定管理者を決定 経済建設委員会

経済建設委員会に付託された議案は、条例案件6件、事件案件9件、予算案件5件、陳情1件で、慎重審査の結果、いずれも原案のとおり可決及び採択すべきものと決しました。また、議員提出議案1件については、委

員から修正案が提出され、慎重審査の結果、修正のうえ、可決すべきものと決しました。勤労青少年ホーム、市営駐車場等の指定管理者の指定についての審査では、指定業者選定の過程や方法に関して説明があり、委員から、指定管理による管理の状況等を議会へ報告することを要望し、確

認や点検を行っていくこととしてこれを了承しました。また、小坂田公園マレットゴルフ場を、現在の27ホールから36ホールに整備する工事費用を補正予算計上したとの説明がありこれを了承しました。委員会終了後、片丘浄水場移設建設地と信州F・POWERプロジェクト予定地を視察しました。



信州F・POWERプロジェクト予定地を視察

市ふれあいセンター他 指定管理者を決定 福祉教育委員会

福祉教育委員会に付託された、条例案件3件、人事案件1件、事件案件4件、予算案件2件について、慎重審査の結果、原案のとおり可決・同意するものとし、陳情2件についてはそれぞれ採択・不採択と決しました。



市ふれあいセンター洗馬

洗馬児童館とふれあいセンター洗馬2件の指定管理者の指定につきましては、公募に対して2団体の応募があり、選考の結果、塩尻市社会福祉協議会に決定したと説明を受けました。委員から、もう一方の団体より指定管理料や管理経費が高い上に、すでに現在同施設の指定管理を受けているが、入浴以外の施設利用

が低迷している中で再選された理由を質問し、同協議会のネットワークや人材、組織体制がしっかりしており、社会福祉を推進するための内容に今後は期待できるなど、総合的に評価したと説明を受けました。また、委員から、社会福祉協議会ありきではなく、正当な評価をするよう要望をしました。

市庁舎大規模改修 実施設計へ 総務環境委員会

総務環境委員会に付託された議案は、条例案件4件、予算案件1件の計5件で慎重審査の結果、いずれも原案のとおり可決すべきものと決しました。その他陳情3件については1件は採択、2件は趣旨採択となりました。

条例案件では、塩尻市情報公開条例の一部を改正する条例案は、市政に対する情報公開制度をより利用しやすいものとするため、情報の公開をだれでも請求できるように改めるもので、市が出資する法人等も情報公開の対象になるとの説明がありました。一般会計補正予算の歳出では、11月1日より不活化ポリ



大規模改修予定の市庁舎

オワクチンが加わった4種混合ワクチン接種が新たにスタートしたことに伴う、ワクチン購入のための増額との説明を受けました。さらに市庁舎大規模改修事業については、工事実施設計委託料の補正であり、耐震化工事に係る工法について説明を受け、これを了承しました。

代表質問の要旨

※本文は質問者自身の原稿によるものです

会 派 名
 明 政 会
 新 政 会
 市民派連合
 公 明 党
 市政同志会
 和 の 会
 日本共産党

明 政 会
 質問者 五味 東條
 森川 雄三・塩原 政治
 西條 富雄・宮田 伸子
 持ち時間150分

**ごみ処理
 広域化
 検証**



◆松本クリーンセンターに搬入される塩尻のごみの量は、構成市村の人口で除した一人一日当たりの平均可燃ごみの量が、共同処理により1・01kgから0・92kgに減少したことは塩尻のごみ量は少ないと理解してよいか。

問 塩尻の一人一日当たりの可燃ごみの量は0・65kgであり、松本クリーンセンター管内の平均値を大きく下回っている。

答 ごみの搬入量によって、松本クリーンセンターの負担金、分担金が異なると聞いているがどうか。

答 家庭や事業所がそれぞれ可燃ごみを減らすことは、本市が負担する分担金も少なくなり、財政的観点からも重要

と考える。塩尻市の燃えるごみの量を5%削減され、他市村が増減ないと仮定して、概ね800万円程度減額となる。

問 更なるごみ減量の方針は。

答 「食べ残しをしない運動」「もったいない運動」「レジ袋をもらわない運動」を三ない運動として進めていく。

◆人口減少時代の対応

問 どんな街づくりを行うか。

答 第四次総合計画基本計画で「住みよいまちをつくり人口誘導をはかります」とする施策のもと、誰もが住みたい住み続けたい、魅力溢れるまちづくりを進めてきている。

問 中心市街地の大門地区にコンパクトシティの街づくりを試み、またまった投資をしたが、活性化できたか。

答 市民交流センターは毎月4万5千人から、多い月で6万人と予想を上回る多くの方がご利用され、今年3月30日100万人を突破した。

ウイングロード前交差点の通行量調査では、平成21年度約1千300人であったのに対し、22年度は1千800人余、23年度は2千200人余、24年度が2千700人余と年々増加傾向である。

問 街なかの回遊性や人口減に歯止めがかかったか。



柿沢市有地のぶどう園

答 根本的な解決を図るまでには至っていないが、研究を重ね対策や支援策を講じていく。

◆マレットゴルフ場整備

問 代替地として、小坂田公園にマレットゴルフ場を計画して補正予算を上程しているが、立派な格調高い、マレットゴルフ場を整備してもらいたい。

答 マレットゴルフ場の整備は、マレットゴルフ協会の皆さんのノウハウを生かして、利用される皆さんと協議を重ねながら、設計していく。

問 小坂田公園の活性化は。

答 マレットゴルフ場の整備により小坂田公園利用者が増加し、小坂田公園の活性化にも繋がっていくと信じている。

◆社会福祉センターの今後

問 重油漏れの対策費としていくら税金が使われたか。

●代表質問とは？

2人以上所属する“会派”から代表して行う質問で、毎年12月定例会と一般選挙後の最初の定例会で行います。（各会派の持ち時間は〔基礎時間40分＋（会派所属議員数－1）×5分〕と、その1.5倍の時間を合計したものが各会派の持ち時間となります。）

●会派とは？

市議会の中で、主義、主張等を同じくする議員で構成された団体のこと。1人でも会派を作ることができますが、代表質問をすることはできません。

【答】 重油漏れ事故にかかった費用は、平成23年度末で約5千470万円を対策費用として支出している。

【問】 いつ解体する予定か。

【答】 当面は北部圏域における「ふれあいセンター広丘」に取り組んでいるところである。

【問】 指定管理者を第三者により評価する制度を作る考えは。

【答】 他市の実施状況等を参考にしながら、導入については研究していく。

◆柿沢市有地どう栽培

【問】 昨年より本格的なぶどう栽培を始めたが、どうか。

【答】 標高が850mと高く心配したが、順調で明るい見通しである。現在2者と契約し、6万4千500㎡を貸付け、賃貸料収入は年間122万5千500円である。

◆医療費抑制と生涯スポーツ

【問】 生涯スポーツを継続し医療費抑制に貢献の整備を。

【答】 健康寿命を延ばすための講座や施設整備を計画的に進める。

◆特別支援学級について

【問】 市内の小中学校に肢体不自由児支援学級の設置を。

【答】 課題を解決しながら取り組みを進めていく。

新 政 会

質問者 横沢 英一
 牧野直樹・金田興一
 金子勝寿

持ち時間138分



◆第五次総合計画に向け

【問】 人口目標に向け、誘導策と政策目標を持った対策を。

【答】 人口は検討し見通したい。減少を食い止めるきめ細かな施策や、女性の仕事・子育て・社会参画支援に力を入れたい。

【問】 区画整理・産業団地造成や形態規制の緩和の考えは。

【答】 区画整理事業は塩尻駅北西の開発誘導エリアを、産業団地は既存企業と連携、活性化、雇用拡大を図る事も含め、野村桔梗ヶ原地域を候補地と考えている。第一種低層住居専用地域の容積率や建ぺい率の変更については、検討する。

【問】 農山村活性化のその後は。

【答】 本年度「地域イノベーター養成アカデミー」に参加し週末移住等の成果があった。

◆平成25年度予算

【問】 来年度の市税見込み、財政調整基金は長期シミュレーションでは平成34年頃には枯渇とあるが対策は。施設の維持管理費が少ないのでは。

【答】 固定資産税、法人市民税は減収傾向。基金については財源の確保、予算の重点配分、健全財政の堅持に努め、維持管理費は必要な箇所適切な予算をつけたい。

◆道路交通行政

【問】 国道高出差差点付近の人身・物損事故は年間平均54件となっている、複雑な交差点の抜本的な改良が必要なのは。

【答】 市内の国道は大きな事業が行われており、現段階では難しい。交差点管理している長野国道、飯田国道、県、市4管理者と公安委員会等でテーブルに着き検討したい。

【問】 広丘東・西幹線整備を五次総合計画に明記されたい。

【答】 市民要望の強い路線であり、将来の交通基盤を築く、重要な路線ととらえていく。

【問】 要望強い生活関連予算は。

【答】 平成24年地元要望に対しての着手率25%である。

【問】 夜間歩行者の安全確保のため、運転者に目立つ服装や反射材の着用を市民運動に。

形や着用方法は公募を。

【答】 市民運動になるよう対応する。反射材のアイデアや着用方法等の市民公募については検討をする。



交通事故の多い複雑な高出差差点

◆教育行政

【問】 学校における色々な問題

【答】 トレイルは最近人気が出てきている。このコースは様々な環境が整っている地域なので、協議会に提案し実現に向け努力したい。

【問】 トレイルは最近人気が出てきている。このコースは様々な環境が整っている地域なので、協議会に提案し実現に向け努力したい。

【答】 トレイルは最近人気が出てきている。このコースは様々な環境が整っている地域なので、協議会に提案し実現に向け努力したい。

【問】 トレイルは最近人気が出てきている。このコースは様々な環境が整っている地域なので、協議会に提案し実現に向け努力したい。

【答】 トレイルは最近人気が出てきている。このコースは様々な環境が整っている地域なので、協議会に提案し実現に向け努力したい。

や不祥事等、これまで学校現場と教育委員会との連携について、報告、連絡、情報共有等課題もあったと思うが、集約と具体的な改善方法は。

問 問題が生じた時は全職員が情報を共有し、組織的に対応することを徹底した。また全校において生徒指導ルールの徹底、教職員能力向上のため研修を実施している。

◆環境行政
問 市内湖沼の水質状況と下流河川の管理の取り組みは。

答 みどり湖は臭水質汚濁の環境基準に近付いている項目もある。下流河川では住民・企業の皆様により、帰化植物除去や清掃が行われている。

市民派連合
 質問者 丸山 寿子
 永田公由・古畑秀夫
 持ち時間125分

持続可能なまちづくりを

◆信州F・POWERプロジェクト
エクトへの取り組み

問 用地提供、道路整備の考え方は。

答 用地提供は賃貸を考慮しており、貸付の形態や期間、賃料などを検討中で、契約は来年の4月頃の見込み。道路については、事業者から提案の2ルートを地元の説明会で提示。出された課題を検討し、安全対策を優先して拡幅や改良を県と協議していく。

問 余熱利用の研究で、農業の他、温浴施設についてはどうか。

答 余熱利用は、片丘地区が市街化調整区域でもあり、農業再生に向けた利用を第一として研究中。温浴施設は市街化調整区域のため土地や建築物制約の課題がある。

◆診療所の運営

問 榑川診療所及び両小野診療所の運営の動向は。

答 榑川については、地元の意見や医師会等への相談により、今後は指定管理者制度の導入を検討して医師の確保に努める。両小野についても地元の意見も聞きながら、無床化と外来診療の充実の方向性の中で辰野町と連携していく。

◆北部圏域の考え方

問 ふれあいセンター広丘は「介護予防」が重点課題とい



信州F・POWERプロジェクト施設イメージ図

うが、具体的に魅力ある施設整備の提案と、地元の声の吸い上げが必要と思うが対応は。

答 関係機関や地元の意見も聞く中で、地域福祉推進拠点となるように施設整備を進めていく。

◆市庁舎耐震化

問 市庁舎耐震化・大規模改修事業における省エネの具体的な内容は。

答 一つは「照明のLED化」で庁舎全体の60%を改修し、約20%の節電効果が期待される。二つめは「太陽光発電整備」で、本市の小中学校設置規模の20kwの設備を屋根部分に設置予定である。

◆いじめ対策

問 本市のいじめ問題へのCAPの効果。

答 平成18年度から「子どもが暴力から自分を守るための教育プログラム」(CAP)

を導入。市内の全小中学校で計画的に実施。児童、教員対象の他、保護者や地域住民対象でも行っており、共通の認識を持つことで効果がある。さらに有効な工夫をしていく。

◆雇用状況は

問 松本地域の雇用状況及び学校卒業者の内定状況は。

答 ハローワーク松本管内の10月の状況は、リーマンショック以来初めて若干上回ったが依然厳しい。県内の一部企業での人員整理の動きに対し「雇用対策推進協議会」を年内に開催する。卒業予定者の内定も若干上回ったが、大企業思考のミスマッチ解消のため、堅実な地元中小企業の紹介も行っている。

公明党
 質問者 中村 努
 山口恵子
 持ち時間113分

空き家等適正管理条例前向きに検討

◆信州F・POWERプロジェクト
エクト

問 一企業に止まらない市民共有の財産となるような波及効果はどうか。また、バイオマスエネルギー循環の構想を作るべきかどうか。

答 木製品関連の企業や流通業等への影響、熱利用による相乗効果で新企業の進出、各種研究機関の進出が期待できる。雇用では林業・運搬・本体事業等を含め約400人が見込まれ、各事業者に塩尻市への居住を要望する。循環型地域社会の形成に向け木質系バイオマス等多様な地域資源を活用する事業を調査検討する。

問 原木の買取価格がコスト割れするようでは事業が成り立たないがどうか。

答 事業者から提示されている燃料としての買い取り価格は、原木で1m5千円から8千円、チップで1t8千円から1万1千円を見込む。利益を山側に還元し、林業が業として成り立つ価格を協議する。

問 閉鎖等のリスク回避のため、土地の賃貸契約が重要となるが予定はどうか。

答 事業用定期借地権契約を考慮しており、事業用に限ること、10年以上50年未満、返還は原則更地、用地費の1割の保証金の納付が想定される。

◆審議会のあり方

問 審議会が形骸化している。人選や会議のもちようを検証すべき。また、市長等が開催する諮問機関への議員の参加は、首長との緊張関係から好ましくない。議会としての参画是非の結論を尊重するか。

答 審議会設置の初期の目的を達成すべく、活性化や人選を研究する。議員の参画は、現状でも支障はないと考えるが、議会の提案を尊重し、協議したい。

◆広丘まちづくり

問 支所の新築計画はどうか。また、ふれあいセンター広丘の計画は迷走している。3圏域の福祉拠点整備方針は白紙に戻し、新支所に機能を統合すべきではないか。

答 支所新築は敷地拡張に向けた検討段階である。ふれあいセンター広丘は厳しい指摘があったが、正直に反省すべきと思う。社会情勢の変化に合わせて施設整備を考えなくてはならないと考える。

◆空き家等適正管理条例

問 条例化が必要だが、検討状況はどうか。

答 生活環境面の問題の相談が多い。現状に対応できるよう条例化に向け検討する。



(仮称)ふれあいセンター広丘建設予定地

市政同志会

質問者 青木 博文

中原巳年男

持ち時間113分



塩尻市の課題と将来像

◆小口市長の10年を省みて

問 「豊かな心をはぐくむ文化都市をめざして」「全員参加で育てる3つの心」等いくつかのマニフェストを掲げ市政運営をしてきた。三期目を迎え、公約に対する評価と残り2年余りの取り組みは。

答 平成14年就任以来、市長の職の重さを常に自覚し、未

来に責任を果たすべく、多くの行政課題に取り組み、目指すのは「市民全員参画の市政」であり、市民が積極的に参加できる、分かりやすい参加システムの構築への取り組みである。更に「100歳の塩尻市が元気な地方都市である」ために、「農業再生」「教育再生」に取り組み、元気な塩尻市を未来につなぐ足掛かりを築いてきた。住民福祉の更なる向上と足腰の強い自治体経営を目指し、継続重点課題の完結と第四次総合計画の諸施策について、課題もあるが、着実に事業進捗が図られてきたものと確信している。

◆信州F・POWERプロジェクト

問 地元合意は重要な問題である。地元合意と今後の対応について、どう考えるか。

答 プロジェクトが発表以降、地元で行った説明会において、事業趣旨を理解され、賛同の意見と生活環境等への影響などを懸念される反対意見もあった。今後は設置される地元委員会を通じ、地元要望や諸課題の解決に向けて誠意をもって対処し、具現化に向けて地元合意が得られるよう対応していきたいと考えている。

◆地元要望と地区計画は。

問 地元要望は案件ごとに判断し、県と連携を図る中で、検討する。地区計画は、地元説明会を行った後、県との協議を行い、都市計画審議会に諮り、来年5月頃を目途に都市計画決定をしていく。

◆小坂田公園マレットゴルフ場拡張

問 市体協・マレットゴルフ協会との合意内容、経過は。

答 協会との説明会で県レベル大会等の開催ができる36ホールとの要望があり、検討の結果既存ゴルフ場の有効利用の駅との相乗効果に繋げ、27ホールから36ホールに拡張することで了解し、今後は協会と相談し整備していく。



片丘農村広場

◆農村広場の現状と施設整備

問 片丘農村広場の施設は。トイシなど施設の老朽化が進む中、今後研究していく。

和の会

質問者 青柳 充茂

中原輝明

持ち時間113分



次期総合計画策定は来年度から

◆第五次総合計画策定

問 平成23年の地方自治法改正で、市町村は総合計画の基本部分である「基本構想」の法的な策定義務はなくなったが、それは、市町村の主体性、自主性が発揮されることを目的とした改正だ。現在の第四次総合計画は26年度までの後2年。市長3期の仕上げに残された時間も後2年弱と、ほぼ重なる。これからの2年は大変重要な時期となる。どう取り組むのか。

答 基本構想から連なる総合計画を「作らなければならぬもの」とするのではなく、自ら責任を持って地域経営を

行う自治体として、どのような統治や経営の仕組みをつくるのかを念頭に、総合計画のあり方を自ら設定することが求められている。昨年設置した経営研究会に、自治体経営の確立に向けた検討をしてもらっており、また、職員にも政策形成能力の向上のほか、情熱と知的エネルギーを持って挑戦し、職員一人一人が環境の変化を敏感に感じ取り、柔軟かつ大胆に対応できるように指導している。来年度からの本格的な総合計画策定の作業に向け、じっくり腰を据えた取り組みを進めたい。

問 具体的な進め方は。

答 庁内で十分な検討をへし、市民の意向を市民アンケートで問い、専門部会で検討してもらい修正を加えた案を、無作為抽出した市民による懇話会で説明、議論し、その結果を、さらに審議会で検討する。これと並行して、地区懇談会、団体・企業との懇談、またパブリックコメントの実施等で多くの市民の皆さんに参画してもらう。審議会、タウンミーティング等で聴取された意見を参考に再度庁内で検討し、専門部会や審議会での検討、市民意見の聴取を

繰り返す方向性を定めていく。この間、議会からも意見を複数回聞いて計画の精度を高め、最終的に議会の承認を得たい。



第4次塩尻市総合計画後期基本計画

◆監査機能共同化を

問 監査機能の強化は、監査委員の常勤化よりも、監査委員事務局を松本広域連合の市村と共同設置するなどして、専門性、独立性を高め、弁護士や公認会計士、実務に精通した専門家の委員登用などをする方が効果があるのでは。

答 「監査の共同化」には専門性が高まるなどメリットがある反面、決算審査など、時期が重なるため効果的な実施が困難といった課題も。国の見直し作業を注視していく。

日本共産党
質問者 鈴木 明子
柴田 博
持ち時間113分

**市民の暮らしを守り願いを
実現する市政へ**

◆情報公開は多様な方法で
問 情報公開の基本的考え方と取り組みは。

答 情報共有は協働の街づくりの原点。市民が使いやすい手段を使い、情報を受け止めていけるよう今後も多様なツールを担保していく。直接説明などは、地域、団体などの要望に応える形で行っていく。
◆リフォーム助成来年も

問 住宅リフォーム助成制度の次年度以降の継続について調査、検討の状況はどうか。

答 2年間で320件3千100万円の補助を実施、一定の経済効果が認められ、要望も高い。小さくとも地域からできる経済効果として予算化の方向。
◆吉田原保育園の整備は

問 吉田原保育園は老朽化が進み、早期改築が必要。平成

25年度詳細設計、26年度建設との見通しがそれぞれ一年先送りとなる理由は何か。

答 概要設計中。入園児童数の見込みを地域全体の変動要員も勘案し詳細に行っている。現時点では定員60人と考えているが国道西側への児童館併設要望もあり検討していく。

◆ふれあいセンター広丘

問 認知症対策などの機能を持った施設が必要との考えが示されたが、整備方針はいつ変わったのか。東部圏域の社会福祉センター建て替えは老朽化し、閉館となる時としているが、重油漏れの抜本的調査対応と合わせ、整備に向けた検討に入るべきではないか。

答 3・11や原発事故を経て暮らし方、未来への責任など方向転換があってもよいと考える。一つの案として提案したものの、今後説明し、意見を聞きながら地域福祉の拠点の整備を進める。社会福祉センター改築はその後となる。

◆国保事業

問 財政健全化指針の概要は。
答 被保険者減少で保険税収も減収するが、高齢化が進み医療給付費は増加する。諸課題を明確化し5年間の財政見通しや対策を講じていく。税

率改定は来年の6月議会に提案予定。



信州F・POWERプロジェクト建設予定地

◆片丘の木質バイオマス発電
問 バイオマス発電を活用した林業の活性化、地域おこしの取り組みに期待する。市の果たす役割は何か。

答 森林整備と再生可能エネルギーの先駆的塩尻モデル構築にむけ、市内外の森林整備体制の確立など、地元調整関係機関の連携を図っていく。



市政を問う!!

一般質問の要旨

質問者

山口恵子

宮田伸子

※本文は質問者自身の原稿によるものです

安心な福祉のまちづくり



◆社会全体で子育て支援を
問 家庭を支援し教育・保育の量、質の充実が重要。本市ならではの対策は。(山口)

答 子ども子育て支援事業計画を策定するため平成25年度はニーズ調査を実施予定。子育てネットワーク推進懇談会に参画していただき進めたい。

◆学校図書館蔵書システム

問 導入したことで図書館蔵書はどう変わるか。(宮田)

答 授業支援活動や図書館行事の拡大、貸出・蔵書分析など司書の役割を向上できる。

問 図書購入費は不足していないか。(宮田)

答 今後も維持していく。

◆両小野国保診療所

問 運営委員会から提言された介護福祉施設の併設についての考えは。(宮田)

答 今は診療所をどのよう維持していくかが最大の課題。



両小野国保診療所

問 榑川診療所は指定管理者制度の導入の考えを示したが、制度導入の考えは。(宮田)

答 設置主体や条件が違い、榑川と同じ土俵で論議はできない。将来の中では想定できる課題で、検討する。

◆参加しやすい介護予防

問 地域住民が主体となる、分館など身近な場所で行う運動に取り組むべき。(宮田)

答 他市の例を参考に、取り組んでいきたい。

◆安全で安心な社会に

問 救急車の適正利用が問われている。出動状況は。(山口)

答 松本広域消防局管内では平成23年度は前年度より838件の増加で1万5千818件、約半数が軽症で占められている。

問 ドクターヘリが県内2機体制になった。市内の出動状況と、ヘリポートの対応は。(山口)

答 昨年10月から1年間で24件の出動があり主に急病によるもの。ヘリポートは市内53箇所を予定している。全地区で受け入れの対応ができるよう連携をとっている。

施設・資源の有効活用



◆新たな自主財源の確保

問 公共施設の壁に有料での広告掲示はどうか。(宮田)

答 取り組んでいく。

問 図書館の雑誌にスポンサー制度の導入は。(宮田)

答 導入例が少なく研究する。

◆循環型社会の構築を

問 小型家電リサイクルの取



リサイクルが進む小型家電



地域振興バス

り組みの成果は。(山口)

答 資源化率が向上したことや、最終処分場での埋立て量が年間20%減量された。

問 レアメタルや希少金属のリサイクルは国の重要課題である。市の対応は。(山口)

答 一般家庭で使われている電子機器、携帯電話、デジタルカメラ、ゲーム機、電子辞書など16品目から検討し、公共施設でのボックス回収を試験的に実施していきたい。

◆観光資源のネットワーク化

問 複数路線の地域振興バスやJRを使い、市内に点在する観光スポットを巡る観光コースを作成しては。(宮田)

答 検討する。

より開かれた議会を目指して

塩尻市議会

第3回議会報告会を開催しました

議会報告会の 報告を掲載します

10月23日から26日の4日間
にわたり、市内10地区のうち、
春に開催した5地区以外の、
高出、洗馬、宗賀、北小野、
広丘で第3回議会報告会を区
長会のご協力をいただき開催
しました。春に引き続き、議
会が各地区へ出向き、地域の
課題について議会として市民
の声を聞く方針のもと実施し
ました。

今回の報告会は約2時間の
中で、9月定例会での各常任
委員会審査報告の後、主に参
加者の皆さんと意見交換を行
いました。前回の議会報告会
では、資料がわかりにくいと
の意見をいただいたため、前
回よりもわかりやすい資料作
りを心がけるなどの工夫を行
い、報告会に臨みました。当
日は参加者の皆さんから様々
な質問やご意見をいただき、
議員が議会の視点でお答えし
ました。

なお、紙面の都合上、ここ
では内容の一部のみを掲載し
ました。詳細な内容は、塩尻
市議会ホームページに掲載し
ましたのでご覧ください。

■ 第3回議会報告会担当表

開催日	時間	対象地区	場所	担当班	サポート班
10月23日(火)	午後 7時~9時	高出	高出地区センター	1班	3班
10月24日(水)		洗馬	洗馬支所	2班	3班
10月25日(木)		宗賀	宗賀支所	2班	1班
10月26日(金)		北小野	北小野支所	1班	3班
		広丘	広丘支所	3班	2班

※ 正副議長は班には所属せず、総括として出席しています。

- 班編成
- 1班 宮田伸子、横沢英一、金子勝寿、牧野直樹
 - 2班 鈴木明子、五味東條、青木博文、古畑秀夫、森川雄三、青柳充茂、中原巳年男
 - 3班 丸山寿子、中原輝明、西條富雄、務台 昭、山口恵子、永井泰仁、中村 努、柴田 博、塩原政治

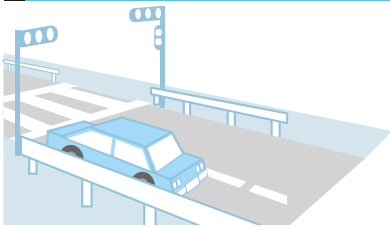
高 出



高出地区センター (10月23日)

問 広丘東通線の道幅が狭く交
互通行ができない。また、高
出地区センターの交差点は事
故が多い。北からの拡幅が進
められているが、できるここ
ろから始めたらどうか。**答** 塩
尻市の幹線道路は、国道19号
と東西幹線が南北の柱であり、
東西を結ぶ道路は立体交差等
で整備が進んでいる。東西幹
線の整備率は、30〜33%とい
うことで、今後の早期整備が
課題と捉えている。第五次総
合計画の中にも位置づけられ
るよう努力していく。**問** 国道
と歯科大通り線の交差点の渋
滞が大変である。右折レーン
の設置をして欲しい。**答** 歯科

大通り線の渋滞は、市当局も
十分承知をしている。交差点
の改良は地権者の関係もある
ため、信号の改良が考えられ
る。対策を担当課に要望して
いく。**問** 旧高出保育園の跡利
用について、現在物置状態に
なっている。東通線の拡幅と
あわせ、ミニ公園にしたらど
うか。**答** 保育園閉園後の跡利
用については、地元の皆さん
の要望を最優先にしている。
要望がなければ、利用希望
を募るとか、更地にして売却
するなどしているため、まず
は地区をあげて跡利用の検討
をお願いしたい。**問** 新しい家
ができていて一方で、空き家
が増えている。空き家バンク
で対応の事だが、防犯上の
対策として早く立ち上げるべ
きだ。**答** 空き家バンクはすで
にできており、ホームページ
に現在2件登録されている。
空き家の適正管理について、
議会としては条例を作り、あ
る程度強制的に所有者に適正
な管理を求めることを進める
ことが必要だと考えている。
条例制定を進めたいし、行政
でも現在研究中である。



洗馬

問 小学校通学路の、特に藤塚から洗馬小学校の間が心配。早急な安全対策が必要であると考えるが、具体的にどのような対策を考えているのか。

答 歩道やグリーンベルトは、時間が掛かり難しいため、西部中では、通学路を危険度の低い道に変更して安全確保をしている。自己防衛も必要と考えるが、市へ前向きに進めるように強く要望する。**問** 原交差点から南側の道路でも通学路の安全確保について更に強く要望する。**答** 今回の調査は、学校側から指定された箇所 の緊急調査であった。基本的には区長要望から行政に上げるようにしていただきたい。中学校に関しては、今後実施される。**問** ふれあいセンター洗馬について、65歳以上は無料にするなど、条例変更をして利用が増える様に要望する。他施設は老人無料で、平等の精神に反していると考ええるが。**答** 他の老人福祉施設は、65歳以上の方など一部の方しか利用できない施設だが、ふれあいセンター洗馬は、200円で誰でも入浴できる施設で



洗馬支所 (10月23日)

ある。以前、ふれあいセンター洗馬を有料にして欲しいという意見が市民から出たため有料化した。**問** 地域振興バスのダイヤが4月に改正されたが、上小曾部センター以南の市民は運行時刻が早い時間で終わることに大変困っている。再度見直しを要望する。**答** ダイヤは区長了承を得て変更しているため、区内の連絡がうまくいっていないかと思われる。特例事情路線については、市に再考を要望していく。**問** 木質バイオマス発電事業について、成功すれば良いが、失敗して、市の負債になったりしないか。**答** 木質バイオマス発電事業は、雇用創出や、新しい林業、余熱利用など、多彩な方面への事業であるが、まだ構想段階である。

宗賀

問 事故が起きた県道平出床尾線の安全確保(グリーンベルト、歩道設置)を。**答** 現場検証をし、県へ歩道の設置を要望した。平出博物館の部分も市に働きかけていきたい。

問 木質バイオマスについて、期待が大きいですが、塩尻市からの排出材はどのくらいを見込んでいるか。**答** 現在、県で詳細な計画を立てている段階。アカマツなどを中心に行う予定である。具体的な計画がわかり次第説明をしたい。**問** 宿場400年祭が26年度に行われるが、街道に公衆トイレがない。日出塩駅もトイレを廃止したため、公衆トイレの設置を要望する。**答** 洗馬から奈良井の間に、公衆トイレを作ってほしいという商工会議所からの建議があったが、市は設置しないと答えている。当面は桜の丘公園のトイレへ誘導するような措置をとっていく。

問 通学路について、宗賀小から床尾へ抜ける道のスピード制限をして安全確保をお願いしたい。**答** 通学路については、合同点検を行い、強く要望をしていく。**問** 宗賀小学校の近



宗賀支所 (10月24日)

くに危険箇所があるので、ガードレールの延長を要望する。**答** 研究させていただいて、市と協議させていただく。**問** 合併特例債の期限が5年延長されたが、新体育館について市議会で建設を求める陳情を採択した経過がある。是非進めてほしい。**答** 合併特例債は31年まで延長ということになる。議会も26年度までは建設しないということ、市の方針を了承している。議会内でも賛否が分かれているため、今後検討させていただきたい。

問 木質バイオマス施設が計画されているののめマレットゴルフ場の代替施設はどうなっているか。小坂田公園の近くでもいいのか。早めの整備を要望する。**答** 覚書による返還には会長に納得してもらった。会員もいるため、今後検討していきたい。



北小野

問 鳥獣対策で個体調整をしたと聞くが、東山の成果は。

答 二ホンジカが約70頭で、これまでよりフンも少なく効果があったと聞いている。

問 二ホンジカ250頭捕獲と聞いているが、竹ノ入水系で被害が多く、罠が不足しているのもっと増やしてほしい。

答 兵庫県が広域捕獲隊を組んでやっている。9月末現在の罠による状況は、二ホンジカ312頭、イノシシ43頭、クマ11頭であり、罠を増やすよう県、市へ要望し、猟友会へもお願いしている。

問 TPP参加について、議会の考え方は。

答 議会は反対の意見書を国等へ出している。

問 国道153号について、3桁国道であり所管している松



北小野支所（10月25日）

本建設事務所には歩道設置を要望しているが、なかなか進まない。地元にとつては生活道路であり歩道の安全対策や補修等をお願いしたい。

答 153号整備については議会も行政を通じて県へ要望していく。

問 通所型介護予防事業参加状況について、対象者計4千703人に対し、参加者166人と実人数が乖離しているがなぜか。

答 実態はこのとおりである。兵庫県あわじ市では、「いきいき100歳体操」で筋力アップを図っている例もあり、参加を求めている。

問 バイオマス発電について、過去、松本広域森林組合を見学した際の話では、年平均4万㎡搬出するのが限度で、拠点から最大30kmが効率的とも言われたが、余熱利用やインフラ整備はどの程度進んでいるのか。

答 具体的な内容が県から示されていない。市所有地を提供する方向であり、借地等の条件もこれからの話。

間伐材はアカマツや広葉樹で、木材加工に8〜12万㎡、発電に12万㎡と聞いているが、全国の例では年10万㎡の例しかなく懸念している。この他道路や水についても課題が多い。

広丘

問 勤労青少年ホーム及び体育センターの条例の一部改正について、指定管理者制度に移行する説明があった。目的は業務の効率化とコストダウンかと思うが、移行のタイムスケジュールは。また指定管理期間は何年間か。

答 平成25年4月1日から指定管理者による管理を行い、勤労ホーム及び体育センターは3年間、大門駐車場は5年間である。12月に、業者が決まり議会で諮られる。

問 広丘東・西通線に進捗状況について、西通線についてはなかなか整備が進んでいない。生活道路であり、通学路としても使っていくため早急に整備を進めてほしい。

答 ようやく、塩原整形東側から歯科大学、湯の木の坂まで整備できた。現状では平出遺跡から国道19号までつながっている。早急な整備を交渉しているところである。

問 市議会では行政視察を行っているが視察先の選定方法は。また報告の方法は。

答 視察は常任委員会で行うものと会派で行うものがある。交通費と宿泊費のみで飲食代は含まれない。

問 視察終了後に報告書を作成し議長に提出し、ホームページにも掲載している。また議会事務局で閲覧することができる。

問 広丘東・西通線を計画している場所に、もし整備できないなら、できるところへ移動しても良いのではないか。

国や県に陳情する機会があれば、区長や一般市民も同行させてほしい。

答 西通線は、道路を作ることにも、雨水排水の関係もあり、行政も検討中。

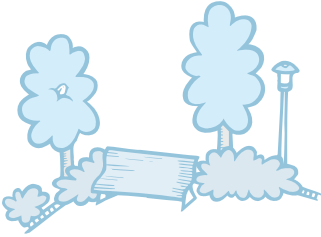
九里巾交差点は事故が多いので、西友から佐川急便までの800メートル間の改良が進んでいる。

4車線に切り替えられるように用地買収が2割終わるところである。

県議・区長等で国へ陳情している。



広丘支所（10月26日）



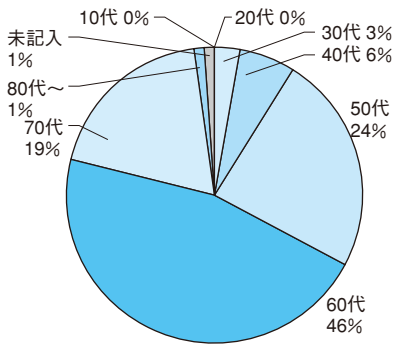
その他意見

- ・日本土真ん中ウォークへの市の関わり方
- ・両小野国保診療所の運営
- ・県道原洗馬停車場線の南側の側溝補修等
- ・高出地区の公園整備
- ・奈良井川右岸のアカシヤの伐採
- ・民間の小規模開発に対する情報提供のあり方
- ・情報端末を利用した各戸への情報提供
- ・塩尻クリーンセンターでの被災瓦礫の受け入れ
- ・市街化区域での空き家バンク制度適用
- ・岩垂原（農道）の交通事故防止
- ・塩嶺トンネル湧水対策
- ・北小野での行政チャンネル視聴
- ・（仮称）ふれあいセンター
- ・広丘の整備
- ・しののめの里マレットゴルフの代替施設
- ・議会報告会の運用・会派制

アンケート結果（回収率69%）

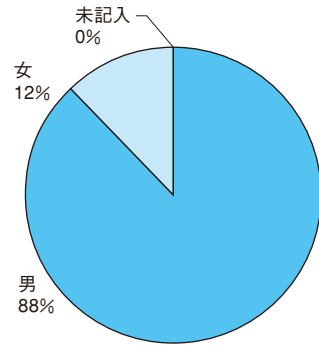
年齢

年齢	人数
10代	0
20代	0
30代	4
40代	8
50代	34
60代	65
70代	27
80代～	2
未記入	1



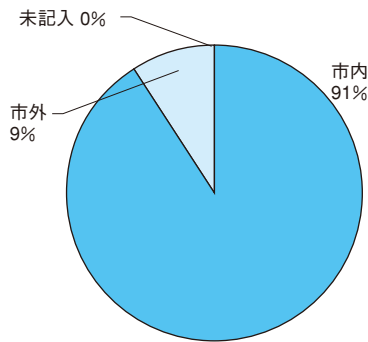
性別

性別	人数
男	124
女	17
未記入	0



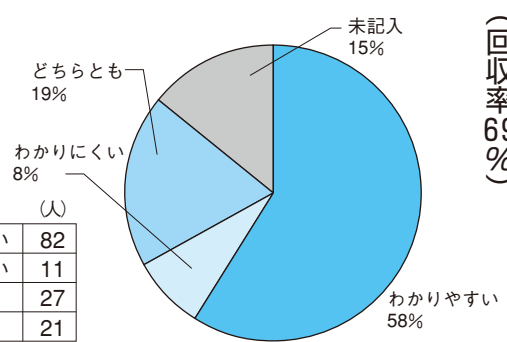
住所

住所	人数
市内	129
市外	12
未記入	0



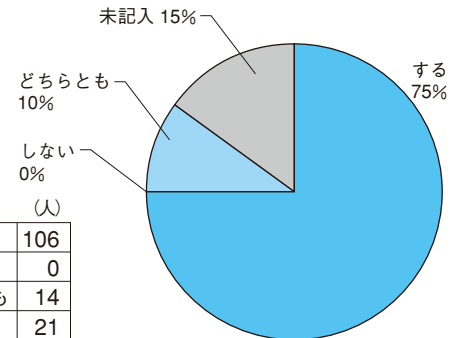
内容

内容	人数
わかりやすい	82
わかりにくい	11
どちらとも	27
未記入	21



評価

評価	人数
する	106
しない	0
どちらとも	14
未記入	21



たくさんのご参加をいただき、まことにありがとうございます。ございました。



議会基本条例推進委員会

議会改革政策部会

行政視察報告

審議会等への議員の参画
11月5日 飯田市

本会議及び委員会における審議を充実させるため、塩尻市議会基本条例第11条4項に「市長等が開催する審議会等への議員の参画は、法令若しくは条例又は議会で定める審議会等に限るものとする」と定められています。

行政を監視する役目を担う議会が、市長から議案の提案説明を受ける前に審議会の議論や結論に関わることは、議会の監視機能を弱めるとされ、全国的な議会改革の流れの中で、派遣を廃止する議会が増えつつあります。

そこで、11月5日に飯田市議会へ議会改革政策部会の調査視察を行い、上澤議長より直接説明をいただきました。飯田市では、平成13年から、「議案提出の前に議員が行政側の審議会で議論に加わるのはおかしい」といった声が議会内で上がり、これをきっかけに議員の派遣を原則廃止し、現在では法律で定める監査委員のみ、議会から派遣をしています。視察後、議会改革政

策部会では早速、審議会等への参画について見直しを行い、表のように参画をするものを絞り込み、12月20日には議長から市長へ、法的根拠がある場合を除き、原則参画しないことを申し入れました。

引き続き参画する主な審議会等

監査委員
民生委員推薦会
消防委員会
道路等の各種期成同盟会
都市計画審議会 など

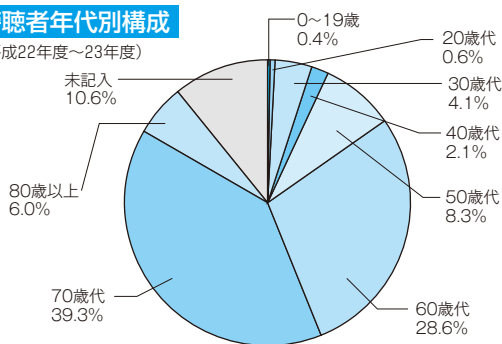
不参画とした主な審議会等

表彰審査委員会
環境審議会
農業振興協議会
青少年問題協議会
国民健康保険運営協議会 など

※参画する審議会等の数は38から18へ減少

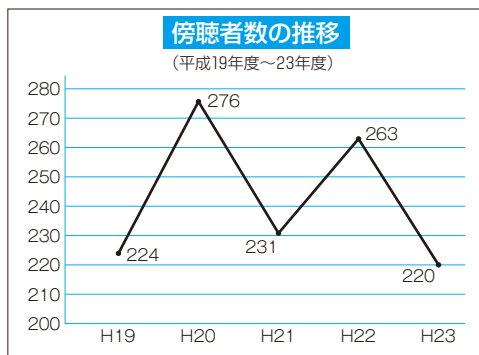
傍聴者年代別構成

(平成22年度～23年度)



傍聴者数の推移

(平成19年度～23年度)



市議会傍聴者数の推移と年代別構成

塩尻市議会定例会（本会議、委員会）および議員全員協議会には平成19年度からの5年間で、年平均242・8人の皆さんに傍聴にお越しいただいています。

代表質問が行われる12月定例会や、次年度予算が審査される3月定例会への傍聴が多い傾向にあります。また、平成20年9月定例会から委員会を原則公開としたことにより、20年9月から21年度にかけて、一定例会中の委員会傍聴者数の平均は11人となり、一時的に委員会の傍聴者が増えました。22年度～23年度は平均3・75人となっております。

傍聴者の年代別内訳は、60歳以上が全体の約74%を占めています。最近では、ケーブルテレビやインターネットによる市議会の生中継・録画放映が行われ、ご自宅でも本会議の様子をご覧いただくことができます。今後は若年層の市民の皆さんにも市議会に関心を持っていただけるよう、議会からの情報発信のほか、テレビ・インターネットの放映時間や放映手法等についても検討を行っていきます。

12月定例会に提出された議案及び議決結果

市長提出議案（36件）

番号	件名	採決結果		議決結果	番号	件名	採決結果		議決結果
		賛成	反対				賛成	反対	
議案1号	塩尻市税条例等の一部を改正する条例	21	0	原案可決	19号	塩尻市塩尻駅前広場の指定管理者の指定について	21	0	原案可決
2号	塩尻市情報公開条例の一部を改正する条例	21	0	原案可決	20号	塩尻市大門駐車場の指定管理者の指定について	21	0	原案可決
3号	塩尻市暴力団排除条例の一部を改正する条例	21	0	原案可決	21号	塩尻市特定公共賃貸住宅の指定管理者の指定について	21	0	原案可決
4号	塩尻市長期継続契約を締結することができる契約を定める条例	21	0	原案可決	22号	塩尻市榑川地区定住促進住宅の指定管理者の指定について	21	0	原案可決
5号	塩尻市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例	21	0	原案可決	23号	塩尻市雇用促進住宅の指定管理者の指定について	21	0	原案可決
6号	塩尻市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例	21	0	原案可決	24号	塩尻市北小野地区若者定住促進住宅の指定管理者の指定について	21	0	原案可決
7号	塩尻市指定地域密着型サービス事業者及び指定地域密着型介護予防サービス事業者の指定に関する基準を定める条例	21	0	原案可決	25号	松塩筑木曾老人福祉施設組合の共同処理する事務の変更及び松塩筑木曾老人福祉施設組合規約の変更について	21	0	原案可決
8号	塩尻市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例	21	0	原案可決	26号	松塩安筑老人福祉施設組合の共同処理する事務の変更及び松塩安筑老人福祉施設組合規約の変更について	21	0	原案可決
9号	塩尻市水道事業給水条例の一部を改正する条例	21	0	原案可決	27号	市道路線の認定について	21	0	原案可決
10号	塩尻市公共下水道条例の一部を改正する条例	21	0	原案可決	28号	平成24年度塩尻市一般会計補正予算（第6号）	21	0	原案可決
11号	塩尻市農業集落排水施設条例の一部を改正する条例	21	0	原案可決	29号	平成24年度塩尻市介護保険事業特別会計補正予算（第2号）	21	0	原案可決
12号	塩尻市簡易水道条例の一部を改正する条例	21	0	原案可決	30号	平成24年度塩尻市簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）	21	0	原案可決
13号	塩尻市水道の布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例	21	0	原案可決	31号	平成24年度塩尻市水道事業会計補正予算（第1号）	21	0	原案可決
14号	人権擁護委員の候補者の推薦について	21	0	同意	32号	平成24年度塩尻市下水道事業会計補正予算（第1号）	21	0	原案可決
15号	塩尻市児童館の指定管理者の指定について	21	0	原案可決	33号	平成24年度塩尻市農業集落排水事業会計補正予算（第1号）	21	0	原案可決
16号	塩尻市ふれあいセンターの指定管理者の指定について	21	0	原案可決	報告1号	損害賠償の額の決定の専決処分報告について	-	-	報告受理
17号	塩尻市勤労青少年ホームの指定管理者の指定について	21	0	原案可決	2号	損害賠償の額の決定の専決処分報告について	-	-	報告受理
18号	塩尻勤労者体育センターの指定管理者の指定について	21	0	原案可決	3号	平成24年度塩尻市一般会計補正予算（第5号）の専決処分報告について	-	-	承認

議員提出議案（3件）

番号	件名	採決結果		議決結果
		賛成	反対	
議案9月1号	住宅リフォーム助成制度の拡充を求める意見書	21	0	修正可決
議案12月1号	安全・安心の医療・介護実現のための夜勤改善・大幅増員を求める意見書	21	0	可決
2号	安心できる介護保険制度の実現を求める意見書	21	0	可決

陳情処理状況（陳情6件）

番号	件名	担当委員会	議決結果
陳情12月1号	安全・安心の医療・介護実現のための夜勤改善・大幅増員を求める陳情	総務環境委員会	採 択
12月2号	安心できる介護保険制度の実現を求める陳情	福祉教育委員会	採 択
12月3号	国立医療と地域医療の充実に関する陳情	総務環境委員会	趣旨採択
12月4号	最低制限価格の設定に関する陳情	総務環境委員会	趣旨採択
12月5号	耐震診断・耐震改修に関する陳情	経済建設委員会	採 択
12月6号	生活保護基準の引き下げはしないことなど国に意見書提出を求める陳情	福祉教育委員会	不採 択

※議員22人中、議長は採決に加わりません。

当市の議会基本条例は、平成23年1月1日に施行して以来、全国各地の議会関係者が視察に訪れる先進的な条例です。市民福祉の向上と市政の発展を目的に議会と議員が行うべき責任行動、わかりやすい議会運営、議員の資質向上、市民や地域との意見交換の充実、会議の公開や情報提供の充実等、議会自ら市民とともに考え、市民の意見を市政に反映させる意思を明確に示したものです。この条例に沿い、昨年から各地域で議会報告会が開催され、議会での審議経過や結果報告、意見交換が行われており、市民からも好評を得ております。



中野 健之先生

今後、市長や議員も時代の変化に対応すべく、常に制度の改革を進め、当市が継続的に発展できる土壌作りを進めることが求められます。この条例の意味するところを追求し、市民のための市政となることを切望します。

市民の声

いじめ問題がまた全国的な注目を集めています。県や市の教育委員会は、知事や市長からの強い要請を受け、どうしたらいじめをなくせるか専門家を交えた対策検討会議などを立ち上げていますが、頭を悩ませているようです。



片丘 次雄先生

三つ子の魂百まで。思っに、いじめが行われるようになってからの対策では、いくらやってもいじめの根絶は不可能ではないでしょうか。いじめの心が育つのは小学生や中学生よりもっと前の幼児期と言われ、いじめ心が育つ前に、より大切な三つ子の心を育て、他の悪い心は芽のうちに摘んでしまおうのです。

人格形成の基礎がつくられる幼児期こそ、三つ子の心、即ち感謝し、尊敬し、思いやる心の三つを育むことが肝要だと思っております。市議会が率先して塩尻市の教育、幼児教育を最重要にする教育に蘇らせて欲しいです。

市議会レポート

正副議長立候補者 所信表明演説会の公開

塩尻市議会では、正副議長に立候補する議員の所信表明演説の様子を公開しています。この所信表明演説会は、正副議長を決める本会議の休憩中に議場で行われます。正副議長は議員による選挙で選出されますが、立候補者による所信表明を聞いた上で議員が投票します。

以前は議員全員協議会において所信表明演説を行っていましたが、開かれた議会を指し、広く市民の皆さんにも議長マニフェストを知っていただくために、議場での所信表明演説会開催としました。これは議会基本条例に規定されているもので、平成23年5月臨時会から実施されています。



市議会本会議場

議長の任期は申し合わせにより2年となっているため、今回の改選は平成25年5月臨時会の予定です（ただし再任は妨げません）。市民の皆さんには、議場の傍聴のほか、行政チャンネル、インターネット中継（ユーストリーム）等により視聴いただけます。塩尻市議会の方向性に大きく影響する議長マニフェストとなりますので是非ご覧ください。

議会あれこれ

◆本会議場で会派の代表質問の関連質問を行う時、時間がないとか、キャンセルしてくれとか、会派仲間同士、席を乗り出し、打合せしている姿は市民から見てもどうかと思う。議員は、あらかじめ打合せを行い、毅然として質問すべきだと思ふ。

◆総選挙と同時並行の定例会であった。どっちが大事？どっちも大事。体が引き裂かれるような3週間余りであった。一般質問が通常の半分物足りなかった。影響があったことは間違いない。職員からは、選挙に専念してくれればいいのかとの声も。

◆民間のノウハウを活用して効率的な経営を図るためと説明されていた大門駐車場と駅前広場の指定管理者に、駐車場経営をしたことのない「株式会社おじり街元気カンパニー」が決定した。初めから素直な説明がされた方がすっきり賛成できたのになと思ふ。

3月定例会の予定

2月22日	開会日
3月1日	一般質問
4日	
5日	
6日	委員会
7日	
8日	
11日	
12日	
13日	
3月18日	閉会日

会議の日程は変更になる場合があります。

本会議を生中継しています！

テレビ松本ケーブルテレビの「塩尻市行政チャンネル(J706)」で市議会本会議の生中継を行っています。本会議開催の一週間後に録画放送も行っていきます。また、市議会ホームページでもインターネットによる生中継・録画放映を行っています。ぜひご覧ください。

議会基本条例推進委員会

広報部会

- ◎古畑 秀夫 ○宮田 伸子
- 横沢 英一 中原巴年男
- 五味 東條 中村 努
- 柴田 博

◎部会長 ○副部会長